

モーツァルト室内管弦楽団 第171回定期演奏会

〈ベートーヴェン・シリーズ〉第6回

Ludwig van Beethoven

《ベートーヴェン》

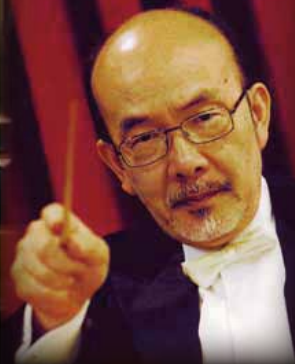
交響曲 第2番 ニ長調 Op.36

ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 Op.58

交響曲 第8番 ヘ長調 Op.93



ピアノ◆池田洋子



指揮◆門 良一

開演10分前より指揮者によるプレトーク有

*Ryoichi Kado & Yoko Ikeda
mit dem Mozart-Kammerorchester*



2016.

7/30(土) いずみホール

2:00pm開演(1:30pm開場) 入場料: 一般 ¥5,000(指定席) / 学生 ¥1,000(当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org> 協賛◆いずみホール[一般財団法人住友生命福祉文化財団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail:artists@gol.com

〒530-0041大阪府北区天神橋3-3-3南森町イシカワビル507 URL:<http://www.oaa1985.com/>

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:291-923)

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:53051)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。



大好評の〈ベートーヴェン・シリーズ〉、ラスト・スパート！

2011年から始まった門 良一指揮モーツァルト室内管弦楽団による〈ベートーヴェン・シリーズ〉は、大好評のうちに残すところあと2回となった。今回は交響曲第2番と第8番、それにピアノ協奏曲第4番という豪華プログラムである。第2番は古典様式豊かな中にもベートーヴェンらしさがにじみ出た名品である。第8番は4曲ある偶数番号の交響曲の特徴を持った、こじんまりとした愛すべき交響曲とみなされているようだが、断じてそうではない！あの大作第7番と完全に並行して作られた大交響曲なのである。またピアノ協奏曲第4番は、第5番《皇帝》や第3番に勝るとも劣らぬ内容を持つ名曲であり、これをモーツァルト室内管弦楽団と最多協演をしているベテラン・ピアニスト、池田洋子が演奏するのはまさに聴きものである。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シプリアン・カツェリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シティオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。

池田洋子●ピアノ *Yoko Ikeda, Piano*

第7回学生音楽コンクール高校の部全国第1位文部大臣賞受賞。東くめ・照子・貞一、井口愛子の各氏に師事。東京芸術大学在学中に渡仏。パリ・エコール・ノルマル音楽院最高クラスに転入学。ジュール・ジャンティ及びアルフレッド・コルトー氏に師事。日本人として最初のリサンス・ド・コンセール(演奏家資格)を得て卒業。1959年マリア・カナルス国際コンクール第2位(1位なし)、1962年ヴィオッティ国際コンクール金賞などに入賞。パリをはじめ、国内外でのリサイタルは勿論、大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団の定期演奏会をはじめ、東京交響楽団、日本フィル、関西フィル、モーツァルト室内管弦楽団など日本の主要オーケストラと数多く共演の他、NHK放送などで活躍。また、ミッシェル・デポスト、レイヌ・フラショーなど内外著名演奏家との室内楽活動も目覚ましい。1990年ザ・シンフォニーホールにて演奏歴30周年記念リサイタルを開催して以来、5年毎に記念リサイタルを開き、2010年いずみホールにて演奏歴50周年記念リサイタルを開催し、いずれも好評を博す。一方1996年以来、ニューヨークで開催されるサミット・ミュージック・フェスティバルや、パリ近郊のムーラン・ダンデで開催されるマスタークラスに招かれ、演奏と指導を行なっている。また、ボルト国際コンクールをはじめ、国内外のコンクールの審査員も務めている。近年は川西市民文化賞、兵庫県生活振興功労賞、兵庫県文化賞、瑞宝中綬章など輝かしい功績を収めている。神戸女学院大学音楽学部名誉教授。現在、大阪音楽大学客員教授。日本シヨパン協会関西支部長。川西市民合唱団団長、川西音楽家協会会長、川西市文化振興財団理事長。